

嘉瀬川ダムのアオコ発生状況について(8月23日)

- 嘉瀬川ダム貯水池（富士しゃくなげ湖）では、8月上旬にダム堤体周辺でアオコの発生を確認しました。
- 貯水池巡視の結果、発生から現在までアオコの発生範囲は、ダム堤体周辺のみで、広がりは見られていません。
- アオコ発生に伴い、原因種の特定等の水質分析を行いました。
 - ・発生したアオコは、ミクロキスティス属で、主な構成種は「ミクロキスティスエルギノーゼ」でした。
 - ・有毒物質であるミクロキスチンLRが検出されましたが、厚生労働省の水道水質基準（要検討項目）の目標値(0.0008mg/l)と同等若しくはそれを下回っている状況です。
 - 貯水池内 0.00086mg/l
 - 下流河川 0.00048~0.00056mg/l
 - ・水道水については、ミクロキスチンLRは浄水場の通常の塩素処理により分解除去ができます。
- 嘉瀬川ダム管理支所では今後も、貯水池監視の強化、水質保全施設（曝気循環装置）の継続的な稼働、選択取水設備の適切な運用及び水道事業者等の関係機関への情報提供等の対応を引き続き行っていきます。

アオコ発生状況写真(ダム堤体右岸天端より 平成25年8月20日撮影)



- ・アオコは主に堤体左右岸の端部に発生しています。
- ・貯水池内の曝気循環装置は平成25年3月より全4基とも稼働中です。
- ・選択取水設備の取水深設定を下流への影響が出ないように、15m以深に設定しています。